

2023年10月23日 第471号

憲法共同センターNEWS

戦争する国づくりストップ！憲法を守り・いかす共同センター
〒113-8462 文京区湯島 2-4-4 全労連会館 03-5842-5611 (FAX 5842-5620)
http://www.kyodo-center.jp mail: move@zenroren.gr.jp

総がかり行動「臨時国会開会日行動」に 200 人

**改憲阻止、軍事費拡大を阻止するたたかい大きく
悪政推進の岸田政権を退陣に追い込もう!**

総がかり行動実行委員会は、10月20日昼、「改憲・軍拡・増税反対！安保3文書撤回！改憲原案勝手に作るな！辺野古新基地建設反対！南西諸島のミサイル配備反対！殺傷武器輸出するな！保険証残せ！臨時国会開会日行動」を行い200人が参加しました。臨時国会の会期は、12月13日までの55日間であり、国民のいのち、暮らしを守るために重要な国会となります。日本共産党の小池晃参議院議員、立憲民主党の打越さく良参議院議員、社民党の福島みずほ参議院議員、沖縄の風の伊波洋一参議院議員があいさつしました。



憲法共同センターの高橋信一さん(憲法会議事務局長)が主催者あいさつ。「イスラエルとイスラム組織ハマスの衝突で、犠牲者は5000人を超えた。双方がただちに停戦に応じ、関係各国と国際機関があらゆる外交努力を行うべきだ。16日の総がかり行動のイスラエル大使館前行動には600人が参加した。『ガザ侵攻やめよ、即時停戦を』と仲間と共に声を上げ続けよう」と呼びかけました。臨時国会について、「年末までの2024年度予算編成にむけて重要だ。異次元の少子化対策を実施する、物価高に苦しむ国民のいのちと生活をまもるため、軍事費の膨大な増額を止めなければならない。衆参憲法審査会では、緊急事態条項創設の改憲条文案作成や、9条改憲に向けた審議を阻止するための大きなたたかいが求められている。元気にたたかい抜こう」と呼びかけました。

総がかり行動実行委員会「19日行動」に 900 人

平和・暮らしを守るため、市民と立憲野党は共闘し声をあげ続けよう!

総がかり行動実行委員会は10月19日夜、「軍拡増税反対！辺野古新基地建設反対！南西諸島のミサイル配備反対！『殺傷武器』輸出反対！改憲原案勝手に作るな！マイナカード強制反対！暮らしをまもれ！10・19国会議員会館前行動」を行い、900人が参加しました。立憲民主党の岸真紀子

参議院議員、社民党の大椿ゆうこ参議院議員、沖縄の風の高良鉄美参議院議員、日本共産党の赤嶺政賢衆議院議員があいさつしました。

戦争をさせない 1000 人委員会の藤本泰成さんが主催者あいさつ。「19 日行動は来年 3 月で 100 回になるが、改憲反対、平和・いのち・暮らしを守れと声をあげ続けていくことが重要だ」と強調。パレスチナ情勢について「私たちは失われていくいのちに思いをはせなければならない。暴力の連鎖では事態は変えられない」と訴えました。

辺野古新基地を造らせないオール沖縄会議の糸数慶子共同代表が電話で発言。「南西諸島が軍事要塞化されている。石垣ではオスプレイの米軍と自衛隊の訓練が開始された。沖縄が再び戦場になるのではないかと市民に不安が広がっている。こうした事態を許してはいけない」と強調。辺野古埋め立てについて、「国は代執行を行うのではなく、県と対話することが重要だ」と強調しました。

オール埼玉総行動の小出重義弁護士は、「6 月 4 日に 12 回目の 1 万人集会を開催した。岸田政権は戦争への道を通っている。戦争への道を止めるためには、市民と野党の共闘で選挙に勝つしかない。市民と野党の草の根の共闘を徹底的に育てあげよう」と呼びかけました。

九条の会の小森陽一事務局長は、「憲法 9 条違反の戦争法、軍拡戦略を行使することは許せないという世論が広がっている。アメリカと一体の戦争戦略は危険なものであり、沖縄も危険な軍事拠点に変換されている。戦争法の実行を阻止する市民運動の力を 19 日行動で示し続けていこう」と呼びかけました。

憲法 9 条を壊すな!実行委員会の菱山南帆子さんが行動提起を行いました。



●兵庫県共同センター

「軍拡・増税・健康保険証廃止」やめよ 10・19県下いっせい宣伝、30カ所

「軍拡・増税・健康保険証廃止」やめよ、全県いっせい宣伝が10月19日に行われました。呼びかけたのは兵庫憲法共同センター・兵庫革新懇で、この日はJR・阪急・阪神・スーパー前など23カ所で、この日以前は7ターミナル、計30カ所での大規模な宣伝となりました。「大軍拡・大増税NO! 連絡会」作成のリーフは約1万枚が活用されました。

平和を願う姫路市民の会は、JR姫路駅前、「ハマスとイスラエルとの紛争は一刻も早く中止を」と訴えました。ロシアのウクライナ侵略、ガザでの軍事行動を目の当たりにして、「戦争や紛争は絶対してはいけない」とこもごもスピーチしました。岸田政権は「敵基地攻撃能力」先制攻撃も辞さない戦争する国づくりを進めようとしています。それは、わたしたちも、ガザやウクライナのように悲惨な道へ引き込むことです。「権力、指導者に戦争をさせないためには、憲法 9 条を世界中に広げることです」と大きなプラカード掲げ訴え続けました。姫路城へ観光する外国の人々が行動の写真をスマホで撮り、手を大きく掲げグーサインをしていきました。

(憲法改悪ストップ兵庫県共同センター週刊ニュースNo.929より)